

ファイナンシャルウェルビーイングシンポジウム

# Opening Remarks

武蔵野大学ウェルビーイング学部長

武蔵野大学大学院ウェルビーイング研究科長

慶應義塾大学名誉教授

ウェルビーイング学会代表理事

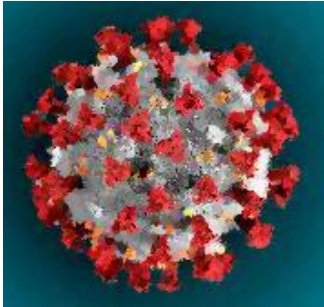
**前野 隆司**

# ウェルビーイング(well-being)とは？

- ラテン語benesse→イタリア語benessere
- 16世紀 イタリア語benessere(良好な状態)の英訳
- 1946年 世界保健機関(WHO)の「健康の定義」
  - **健康とは、身体的、精神的、社会的に良好な状態(well-being)であって、単に病気または病弱が存在しないことではない**
  - **ウェルビーイング=(狭義の)健康+幸せ+福祉**
- 2020年 自民党ウェルビーイング計画推進特命委員会
- 2021年 日本経済新聞ウェルビーイングシンポジウム

# 現代は、課題の時代

格差と貧困



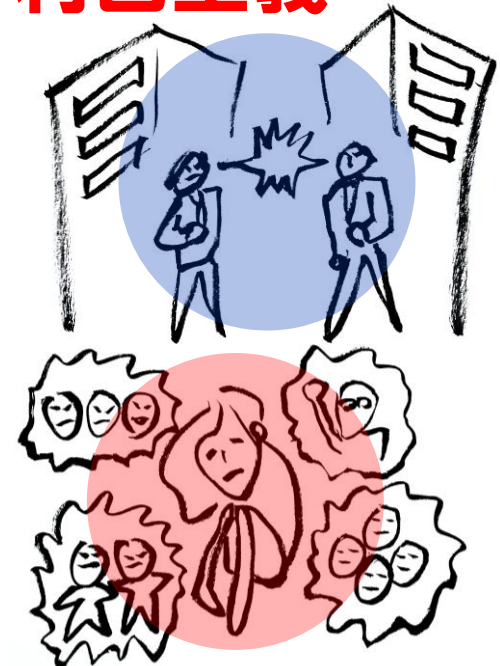
パンデミック

戦争・紛争・テロ



環境破壊

利己主義



生き辛さ

# ウェルビーイングは課題解決のキー

- 1980年代以降、主観的幸福(subjective well-being)に関する多くの心理学的研究が行われてきた。
- その結果、以下のことが明らかになっている。
  - 幸せな人は、視野の広い人
  - 幸せな人は、利他的な人
  - 幸せな人は、創造性が高い人
  - 幸せな人は、成長する人
  - 要するに、幸せな人は、いい人

**初等教育から社会人教育まで、ウェルビーイング教育を充実させ、社会を良い方向に革新する人材を育成すべき**

# 「幸福学(well-being study)」の基礎

- 「**地位財**」型の幸せ＝長続きしない！
  - 地位財＝他人と比べられる財
  - 金、モノ、社会的地位 ……金銭欲、物欲、名誉欲の充足
- 「**非地位財**」型の幸せ＝長続きする！
  - 安全など、環境に基づくもの ……社会的に良好な状態
  - 健康など、身体に基づくもの ……身体的に良好な状態
  - 心的要因(幸せの4つの因子) ……精神的に良好な状態
    1. **自己実現と成長(やってみよう因子)、強み、主体性**
    2. **つながりと感謝(ありがとう因子)、利他、多様性**
    3. **前向きと楽観(なんとかなる因子)、チャレンジ精神**
    4. **独立と自分らしさ(ありのままに因子)、自分軸**



**May all beings be well and happy**



**すべての生きとし生けるものが幸せでありますように**